

実績ある責任施工体制とすぐれた防水システムが安心をお届けします。

ロンシール工業（株）の製品とロンブルーフ防水事業協同組合の施工体制による万全の施工をお約束します。

「ロンシール工業株式会社」
「ロンブルーフ防水事業協同組合員」
連名による協同保証システム。

万全の防水工事
責任施工体制 全国230社

ロンシール工業株式会社
LONSEAL



ロンブルーフ防水事業協同組合
LONPROOF

循環型社会に対応した
環境にやさしい防水資材

シート防水のパイオニア
50年以上の歴史に裏づけられた
信頼の防水工法

ロンシール工業株式会社

防水事業部 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

防水営業部

東京営業所 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西12-4-69 あいおいニッセイ同和損保 札幌大通ビル6F TEL.011-271-0411 FAX.011-271-0422

仙台営業所 〒981-0915 仙台市青葉区通町2-5-28 アクス通町5F501号 TEL.022-301-8788 FAX.022-301-8767

北関東営業所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-376-1 サンフィール大宮宮原403号 TEL.048-664-1511 FAX.048-664-3431

横浜営業所 〒231-0013 横浜市中区住吉町1-14 第一総業ビル6F TEL.045-662-7370 FAX.045-661-0860

大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-9-27 新大阪メイコービル4F TEL.06-6304-2704 FAX.06-6304-6948

名古屋営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27 EBSビル4F TEL.052-950-3200 FAX.052-950-3213

広島営業所 〒732-0827 広島市南区稲荷町2-16 広島稲荷町第一生命ビルディング4F TEL.082-506-2500 FAX.082-506-2514

福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2-6-6 第3フジクラビル2F201号 TEL.092-472-5857 FAX.092-473-6179

営業推進グループ 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

ホームページアドレス <https://www.lonseal.co.jp/>

ロンブルーフ防水事業協同組合

ホームページアドレス <http://www.lonproof.or.jp/>

事務局 〒130-0021 東京都墨田区緑4-15-3 ロンシールビル1F TEL.03-5600-4036 (代) FAX.03-5600-4037



弊社は40年の実績を誇るシート
防水材料の優良メーカーの団体
である当工業会の加盟会社です

合成高分子ルーフィング工業会
<https://www.krkroof.net>

お問い合わせ・お申し込みは

2023年1月版

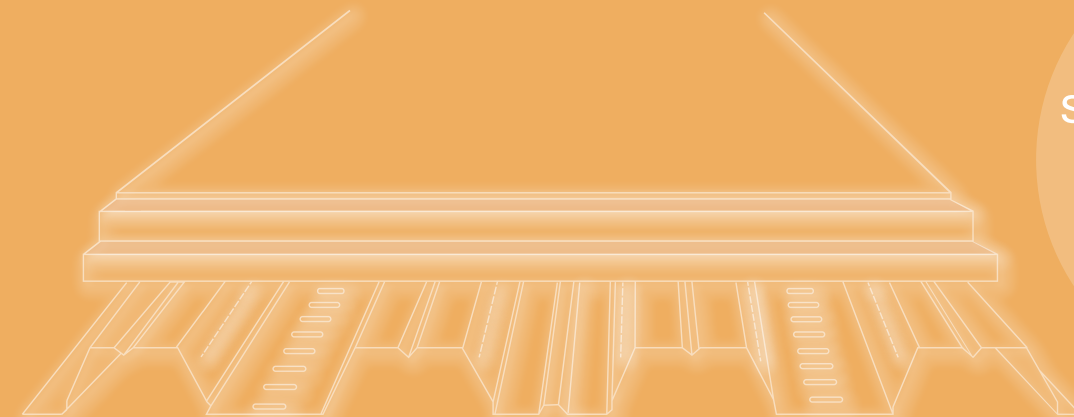
2022.12.S2.4.G.G

LONSEAL

WATER PROOFING SYSTEMS

耐火・断熱・遮音・防水

耐火デッキプレート下地屋根 シート防水システムガイド

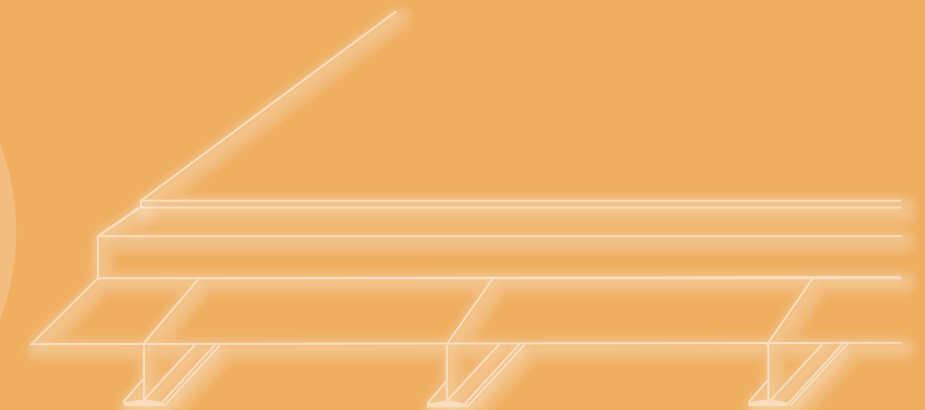


FPIS屋根
SD-S (DR-1648)
SD-S (DR-1988/1987)
SD-S (DR-0210)
SD-S

SD-B (DR-2034)
SD-B

SD-F (DR-1988/1987)
SD-F (DR-0210)
SD-F

SD-B (DR-2034)
SD-B



ロンシール

耐火・防火も「ロンシール」

ロンシールの耐火デッキ下地屋根シート防水システム

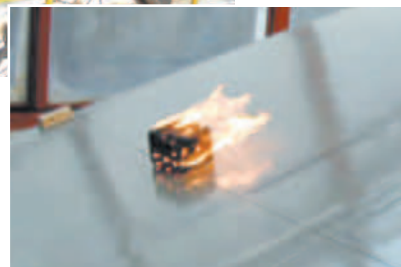
高性能の下地やルーフィング、断熱材の組み合わせによって、非常に高い耐火・防火性能を実現しました。求める性能に応じて仕様を選択することができます。

デッキプレートとルーフィングで耐火・防火性能を発揮!

耐火性能とは、火災が終了するまでの間、建築物の倒壊や延焼を防止する性能、防火性能は、火の粉により有害な発炎・溶融・き裂その他損傷が生じない性能を指します。ロンシールの耐火デッキ下地防水システムは、耐火認定を取得したデッキプレート上に、断熱防水層を施工するシステム。屋根一般仕様の条件を満たすほか、防火（飛び火）認定を取得。特に、FPIS屋根は、下地デッキプレートから断熱防水層までの構造体で、耐火認定と防火（飛び火）認定を取得した安心・安全なシステムです。



耐火認定試験



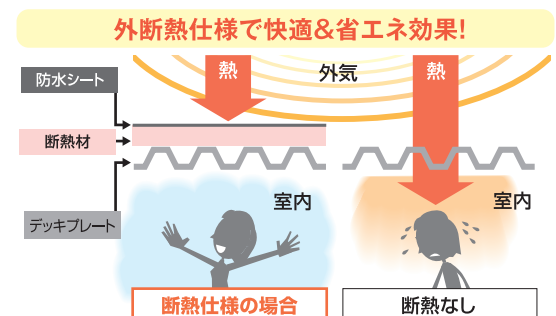
防火（飛び火）認定試験

ロンシールの断熱防水システム

耐火デッキプレート

高い断熱性で省エネを実現し建物への負荷も軽減

選択できる断熱材すべてが外断熱工法で施工するため、冷暖房効率の向上や局部結露の防止などのメリットがあり、省エネルギーや建物寿命の長期化につながります。また、住宅や大規模建築物などの省エネルギー基準にも対応しています。

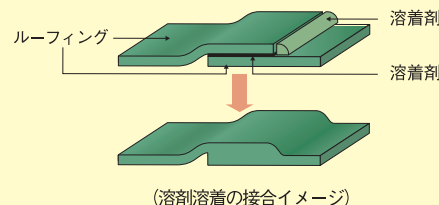


雨音、音鳴りを軽減

デッキプレートの上に、断熱材・ルーフィングを施工するシステムのため、金属屋根に比べ雨音が抑えられます。また、下地デッキプレートの温度変動が抑制され、音鳴りの軽減も期待できます。

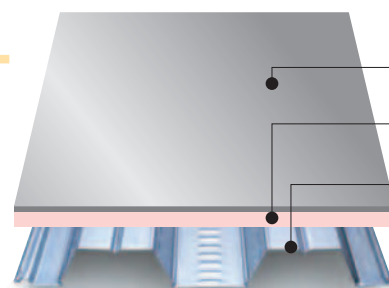
シート防水の基本性能は確保

塩化ビニルシートの特長でもある溶剤溶着、熱風融着により一体化。抜群の水密性を発揮します。また、カラスのついでみによる穴あき事故が発生しにくいことも実証されています。



高性能システムながら軽量で施工スピードも抜群

下地や断熱材、ルーフィングに軽量の資材を使用し、全体の軽量化を実現しています。それによって建物への負担が小さくなり、耐震性も期待できます。そのほか、構造がシンプルでコンクリート下地の養生期間が必要ないため、工期も従来のコンクリート屋根に比べて大幅に短縮でき、コストパフォーマンスも向上します。



ルーフィング 1.9kg/m²
(ベストブルーファンネンの場合)
断熱材 2.0kg/m²
(ネオマフォームHB50mm厚の場合)
下地 14.1kg/m²
(デッキプレートQLルーフの場合)
※SD-S、SD-S (DR-Q210) 仕様の場合

耐火デッキ下地屋根シート防水システム 選択の手引き

	下地	木造小間板	断熱材	耐燃シート	ルーフィング	
機械的固定工法	FPIS屋根 (SD-FPIS) 仕様 (FP030-RF1800+DR-1648) 耐火 + 防火 飛び火認定 断熱材 60~105mm	QLルーフ (QL75)	有	ネオマフォームF	無	ベストブルーファンネン限定 → P.3
	SD-S仕様 (DR-1648) 耐火 + 防火 飛び火認定 断熱材 35~150mm	QLルーフ (QL75)	有	ネオマフォームHB	無	ベストブルーファンネン限定 → P.4
	SD-S/SD-F仕様 (DR-0210) 耐火 + 防火 飛び火認定 断熱材 25~150mm	耐火デッキプレート	無	ポリスチレンフォーム ネオマフォームHB	無	→ P.5
	SD-S/SD-F仕様 (DR-1988) (DR-1987) 耐火 + 防火 飛び火認定 断熱材 25~150mm		有	硬質ウレタンフォーム	一般ルーフィング (ベストブルーFRSを除く)	→ P.6
	SD-S/SD-F仕様 耐火 + 防火 飛び火認定 断熱材 50mm以下		無	ネオマフォームHB 硬質ウレタンフォーム	一般ルーフィング	→ P.7
接着工法	SD-B仕様 (DR-2034) 耐火 + 防火 飛び火認定 断熱材 35~150mm	耐火デッキプレート	無	ネオマフォームMK	無	一般ルーフィング (ベストブルーFRSを除く) → P.8
	SD-B仕様 耐火 + 防火 飛び火認定 断熱材 50mm以下	耐火デッキプレート	無	ネオマフォームMK 硬質ウレタンフォーム	一般ルーフィング	→ P.9
各仕様の認定概要と対応可能厚み						→ P.10

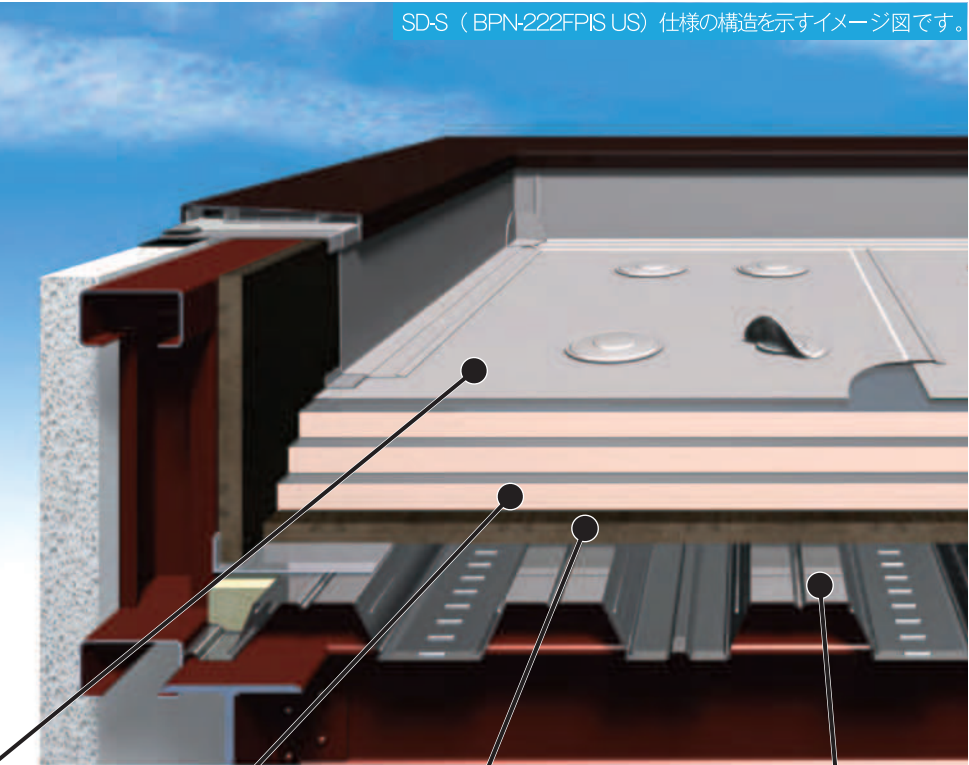
SD-EZ仕様はSD-S仕様に準じます。(スーパーEデッキ採用時のみ)
ただし、SD-S(DR-1648)にはご選択いただけません。

高断熱防水工法 構造体屋根30分耐火認定+防火（飛び火）認定

FPIS屋根（SD-FPIS）仕様

下地デッキプレートから露出断熱防水までの**構造体で屋根30分耐火認定を取得**。
断熱材厚み60mm～105mmの条件に適用できる断熱防水構法です。

SD-S（BPN-222FPIS US）仕様の構造を示すイメージ図です。



防火
飛び火試験認定
DR-1648

耐火
屋根30分耐火認定
構造体指定
FP030RF-1800

ルーフィング
●ベストブルーフ ナンネン（BPN）
【厚さ】1.5mm
※認定の都合により、上記ルーフィングに限定されます。

断熱材
●ネオマフォームF
【適用厚み範囲】60mm～105mm
※認定の都合により、上記断熱材に限定されます。
※厚み規格・認定の都合により、複層貼りになります。
※上記厚み範囲と認定範囲は異なります。

野地板
●硬質木毛セメント板
【厚さ】25mm以上

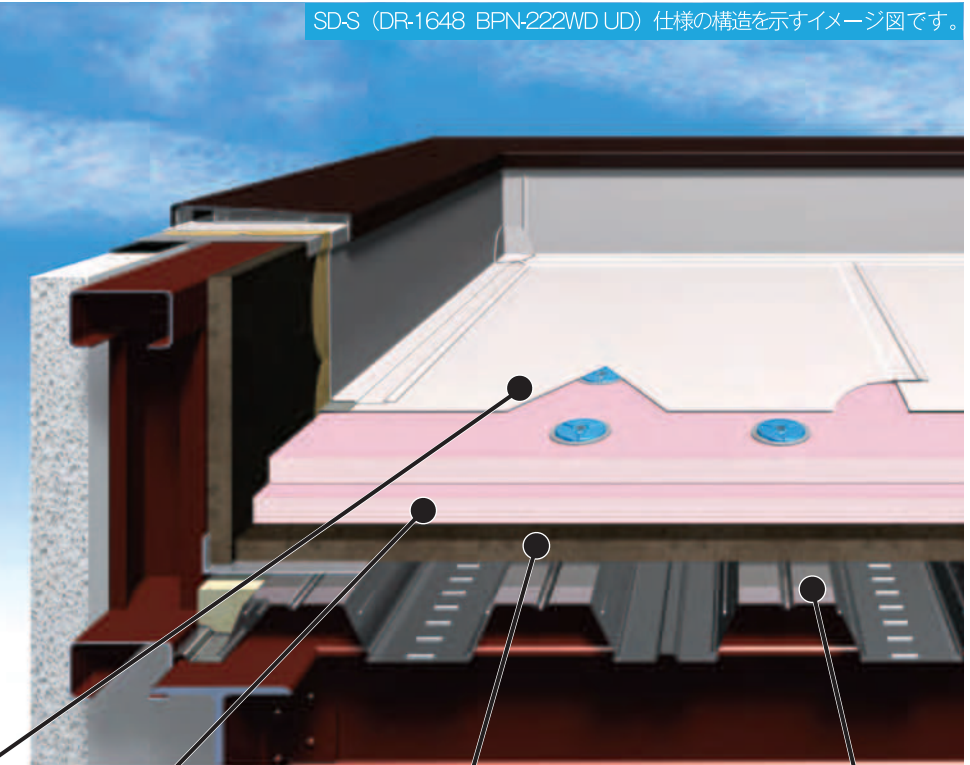
下地デッキプレート
●QLルーフ H=75mm
QL99-75-12Y 1.2mm又は
QL99-75-16Y 1.6mm
支持スパン 2,400mm以下
※通常の耐火デッキプレート下地の支持スパンと異なります。

高断熱防水工法 耐火デッキプレート+木毛セメント板+断熱防水工法

SD-S（DR-1648）仕様

耐火デッキプレートに硬質木毛板を敷き込み、施工中の踏み抜け対策をした高断熱対応工法です。断熱材厚み35mm～150mmの条件に適用できます。

SD-S（DR-1648 BPN-222WD UD）仕様の構造を示すイメージ図です。



防火
飛び火試験認定
DR-1648

耐火
屋根30分耐火認定
デッキプレート下地単体
QLルーフ指定
FP030RF-0327
FP030RF-0413
FP030RF-0328
FP030RF-0326
FP030RF-0064

ルーフィング
●ベストブルーフ ナンネン（BPN）
※認定の都合により、上記ルーフィングに限定されます。

断熱材
●ネオマフォームHB
【適用厚み範囲】35mm～150mm
※認定の都合により、上記断熱材に限定されます。
※厚み規格・認定の都合により、複層貼りになる条件があります。

野地板
●硬質木毛セメント板
【厚さ】25mm以上

下地デッキプレート
●QLルーフ H=75mm
●QLルーフ H=50mm
支持スパン 2,650～4,550mm以下
※詳細は、耐火デッキプレート下地の単体の認定書をご確認ください。

耐火と防火について

耐火は建物内部からの火災に対して、倒壊や延焼防止のための必要な性能を有することであり、平成12年建設省告示第1399号で定められている構造の他は、耐火認定を取得した構造である必要があります。

一方、防火は周辺からの火の粉等により、屋根裏面への延焼、燃え抜け、隣棟への延焼を防ぐことを示します。耐火と同様に建設省告示第1365号で定められている構造の他は、防火認定（飛び火認定）を取得した構造である必要があります。

耐火構造の屋根については「耐火」と「防火」の両方を満たす必要があります。



ロンシールが認定を取得している防火認定は、下地が耐火構造のものとそれ以外の場合に分かれます。耐火構造の屋根として使用できる条件は、



であり、木下地や木質系セメント板下地、耐火30分認定未取得の金属下地の場合には、下地が耐火構造ではないため、防火・準防火地域の施工にあたっては床面積が50㎡以内の平屋建の附属建築物などの制約条件がつきます。22条地域については、屋根一般仕様または防火認定（飛び火認定）構造で対応が可能です。

SD-S/SD-F (DR-0210) 仕様

耐火デッキプレートに直接断熱材(ポリスチレンフォーム・ネオマフォーム)を敷き込む高断熱工法です。断熱材厚み25mm～150mmの条件に適用できます。

防火

飛び火試験認定
DR-0210

※デッキプレート(山谷タイプ)

※デッキプレート(フラットタイプ)

耐火

屋根30分耐火認定
デッキプレート下地単体

※デッキプレート(山谷タイプ)

※デッキプレート(フラットタイプ)

SD-S (DR-0210 BPN-225D UD) 仕様の構造を示すイメージ図です。

ルーフィング
●ベストブルーフ ナンネン (BPN)

※認定の都合により、
上記ルーフィングに限定されます。

断熱材
●ポリスチレンフォーム
●ネオマフォームHB

【適用厚み範囲】25mm～150mm

※認定の都合により、上記断熱材に限定されます。

※硬質ウレタンフォームの場合は、SD-S/SD-F (DR-1988/1987) の構造をご選択ください。

※厚み規格・認定の都合により、複層貼りになる条件があります。組み合わせ上、対応できない厚みがあります。

デッキプレート
デッキプレート (山谷タイプ) [SD-S]
●QLルーフ など
デッキプレート (フラットタイプ) [SD-F]
●アイルーフ など

支持スパン
各デッキメーカー取得認定による

※詳細は、耐火デッキプレート下地単体の
認定書をご確認ください。

SD-S/SD-F (DR-1988/1987) 仕様

耐火デッキプレートに直接断熱材(硬質ウレタンフォーム)を敷き込む高断熱工法です。断熱材厚み25mm～150mmの条件に適用できます。

防火

飛び火試験認定
DR-1988/1987

※デッキプレート(山谷タイプ)

※デッキプレート(フラットタイプ)

耐火

屋根30分耐火認定
デッキプレート下地単体

※デッキプレート(山谷タイプ)

※デッキプレート(フラットタイプ)

SD-S (DR-1988/DR-1987 BPN-227D UD) 仕様の構造を示すイメージ図です。

ルーフィング
●ベストブルーフシャネツ (BSN)
●ベストブルーフ (BP)
●ベストブルーフ ナンネン (BPN)
●ニューベストブルーフ (NBP)
●ロンブルーフシャネツ (LSN)
●ロンブルーフエース (LA)

※認定の都合により、
上記ルーフィングに限定されます。

※ベストブルーフRS (BRS) は適用できません。

断熱材
●硬質ウレタンフォーム
[DR-1988]
アキレスボードWAL-D
[DR-1987]
クランボード

【適用厚み範囲】25mm～150mm

※厚み規格・認定の都合により、複層貼りになる条件があります。組み合わせ上、対応できない厚みがあります。

※断熱材により認定番号が異なります。

デッキプレート
[SD-S]
デッキプレート (山谷タイプ)
●QLルーフ など
[SD-F]
デッキプレート (フラットタイプ)
●アイルーフ など

支持スパン
各デッキメーカー取得認定による

※詳細は、耐火デッキプレート下地単体の
認定書をご確認ください。

屋根一般仕様とは？ 平成12年建設省告示 第1365号の例示仕様を指します。

【平成12年 建設省告示「防火地域又は準防火地域の屋根の構造方法を定める件」】（抜粋）

第1 建築基準法施行令（昭和二十五年政令第三百三十八号。以下「令」という。）第136条の2の2各号に掲げる技術的基準に適合する屋根の構造方法は、次に定めるものとする。

- 1 不燃材料で造るか、又はふくこと。
- 2 屋根を準耐火構造（屋外に面する部分を準不燃材料で造ったものに限る。）とすること。
- 3 屋根を耐火構造（屋外に面する部分を準不燃材料で造ったもので、かつ、その勾配が水平面から30度以内のものに限る。）の屋外面に断熱材（ポリエチレンフォーム、ポリスチレンフォーム、硬質ポリウレタンフォームその他これらに類する材料を用いたもので、その厚さの合計が50mm 以下のものに限る。）及び防水材（アスファルト防水工法、改質アスファルトシート防水工法、塩化ビニル樹脂系シート防水工法、ゴム系シート防水工法又は塗膜防水工法を用いたものに限る。）を張ったものとする。

※SD-S/SD-F/SD-B仕様は、下地が耐火構造となるため、例示仕様として取り扱うことができます。

主要資材の規格と主な特長（FPIS 屋根・SD-S/SD-F 仕様）

品名	【ルーフィング】ベストブルーフ ナンネン	【耐燃シート】LFD [®] シート
写真		
厚み	1.5mm	0.195mm
寸法	1,230mm×10m/巻	1,145mm×50m/巻
材質	塩化ビニル樹脂系	特殊ガラスクロス
特長	塩化ビニルのもつ自己消火性を高め、ベストブルーフをベースにさらに燃えにくくしたルーフィングです。ベストブルーフと同じ工法に使用することも可能です。	硬質ウレタンフォーム断熱材で飛び火認定（DR-1988/1987）適用時に使用する耐燃シートです。

SD-S/SD-F仕様

断熱材厚み50mm以下の条件に適用する一般的な耐火デッキプレート下地断熱防水工法です。

防火

飛び火試験認定
断熱材厚み50mm以下のため、
不要

※デッキプレート(山谷タイプ)

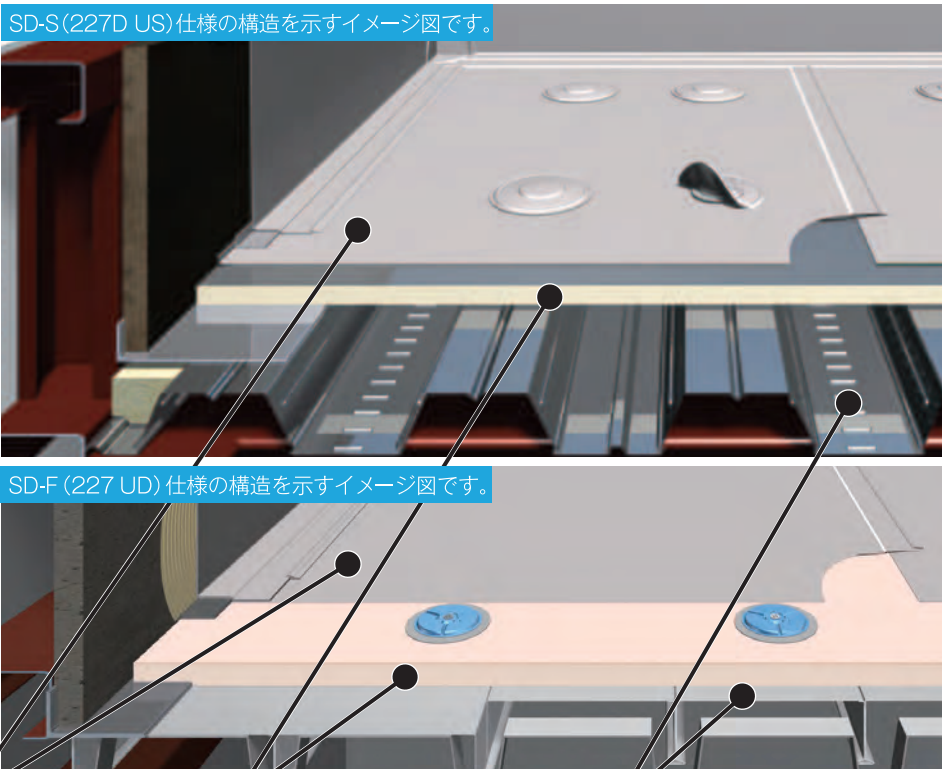
※デッキプレート(フラットタイプ)

耐火

屋根30分耐火認定
デッキプレート下地単体

※デッキプレート(山谷タイプ)

※デッキプレート(フラットタイプ)



ルーフィング

- ベストブルーフシャネツ (BSN)
- ベストブルーフ (BP)
- ベストブルーフ ナンネン (BPN)
- ニューベストブルーフ (NBP)
- ベストブルーフRS (BRS)
- ロンブルーフシャネツ (LSN)
- ロンブルーフェース (LA)

※機械的固定工法に適用できるルーフィングが対象になります。

断熱材

- ポリスチレンフォーム
- 硬質ウレタンフォーム
- ネオマフォームHB

【適用厚み範囲】25mm~50mm

※国土交通省仕様に準じるため、断熱材厚みは「50mm以下」に限定されます。

※踏み抜け防止のため、30mm以上を推奨します。

デッキプレート

デッキプレート (山谷タイプ) [SD-S]

- QLルーフ など

デッキプレート (フラットタイプ) [SD-F]

- アイルーフ など

支持スパン
各デッキメーカー取得認定による

※詳細は、耐火デッキプレート下地単体の認定書をご確認ください。

SD-B (DR-2034)仕様

耐火デッキプレートに「ネオマフォームMK」を直接接着固定。断熱材厚み35mm~150mmの条件に適用できます。

防火

飛び火試験認定
DR-2034

※デッキプレート(山谷タイプ)

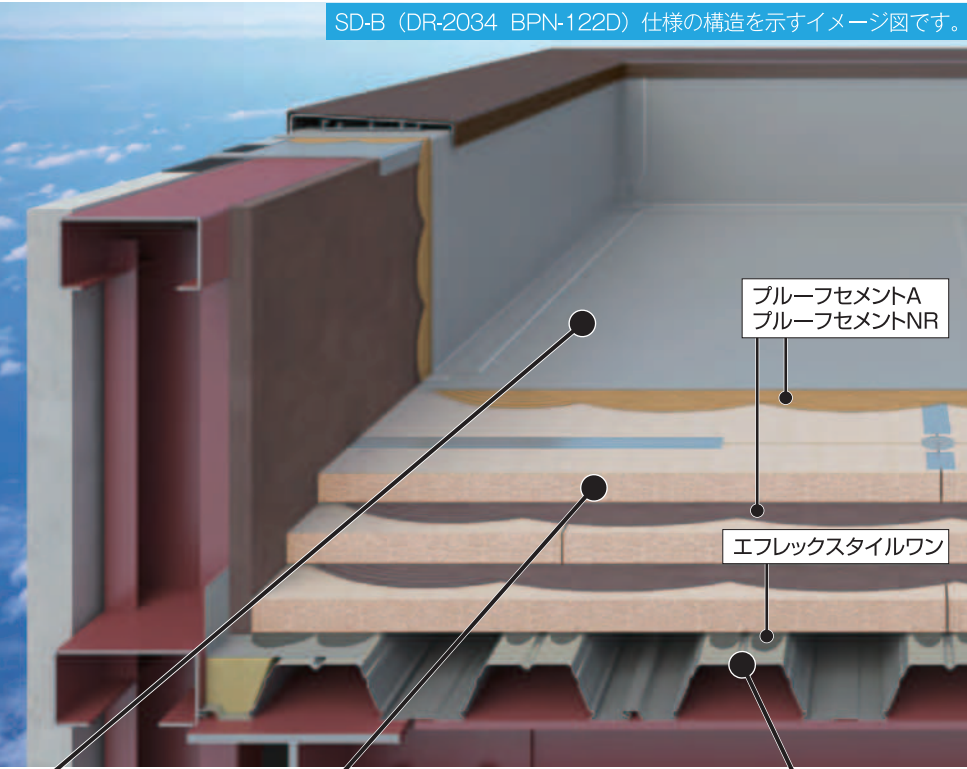
※デッキプレート(フラットタイプ)

耐火

屋根30分耐火認定
デッキプレート下地単体

※デッキプレート(山谷タイプ)

※デッキプレート(フラットタイプ)



ルーフィング

- ベストブルーフシャネツ (BSN)
- ベストブルーフ (BP)
- ベストブルーフ ナンネン (BPN)
- ニューベストブルーフ (NBP)
- ロンブルーフシャネツ (LSN)
- ロンブルーフェース (LA)

※認定の都合により、上記ルーフィングに限定されます。

※ベストブルーフRS (BRS) は適用できません。

断熱材

- ネオマフォームMK

【適用厚み範囲】70mm~150mm

※認定の都合により、上記断熱材に限定されます(硬質ウレタンフォームは対応不可)。

※厚み規格・認定の都合により、複層貼りになる条件があります。組み合わせ上、対応できない厚みが有ります。

デッキプレート

デッキプレート (山谷タイプ)

- QLルーフ など

デッキプレート (フラットタイプ)

- アイルーフ など

支持スパン
各デッキメーカー取得認定による

※詳細は、耐火デッキプレート下地単体の認定書をご確認ください。

断熱材の規格と主な特長 (FPIS 屋根・SD-S/SD-F 仕様)

品名	ネオマフォームF	ネオマフォームHB	硬質ウレタンフォーム	ポリスチレンフォーム
写真				
熱伝導率	0.020W/m・K以下	0.020W/m・K 以下	0.024W/m・K 以下	0.028W/m・K 以下
厚み	30・35mm	35・40・50mm	25・30・35・40・45・50mm	25・30・35・40・45・50mm
寸法	910mm×1,820mm	910mm×1,800mm	1,000mm×1,800mm又は910mm×1,820mm	910mm×1,820mm
JIS A 9521 分類	フェノールフォーム断熱材1種2号CⅡ F☆☆☆☆準抛	フェノールフォーム断熱材1種2号CⅡ F☆☆☆☆	硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号A F☆☆☆☆又は準抛	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA F☆☆☆☆
特長	耐熱性能にすぐれるネオマフォームの断面にアルミ箔を積層し難燃性能を高めた断熱材です。	屋上用途専用のネオマフォームです。ネオマフォームを高密度化し、踏み抜け耐性を向上しています。	ポリスチレンフォームに対し、熱伝導率に優れた断熱材です。	外断熱工法で幅広く使用される断熱材です。経済性・断熱性のバランスにすぐれています。

※熱伝導率・JIS分類はJIS A 9521:2022に基づく表示です。

断熱材の規格と主な特長 (SD-B 仕様)

品名	ネオマフォームMK	アキレスボードGF
写真		
熱伝導率	0.020W/m・K以下	0.023W/m・K以下
厚み	35・50mm	25・30・35・40・50mm
寸法	910mm×1,800mm	605mm×910mm
JIS A 9521 分類	フェノールフォーム断熱材1種2号CⅡ ☆☆☆☆	硬質ウレタンフォーム断熱材3種1号D ☆☆☆☆ 準抛
特長	機械的固定工法用のネオマフォームHBを特殊面材にした接着工法用の断熱材です。 ※受注生産品 (納期はお問い合わせください)	断熱性にすぐれる硬質ウレタンフォーム断熱材です。機械的固定工法用比べ、接着工法に対応した面材となっています。 ※受注生産品 (納期約4週間)

※熱伝導率・JIS分類はJIS A 9521:2022に基づく表示です。

SD-B仕様

耐火デッキプレートに接着工法で固定。
断熱材厚み50mm以下の条件に適用できます。

防火

飛び火試験認定
断熱材厚み50mm以下のため、
不要

※デッキプレート(山谷タイプ)

※デッキプレート(フラットタイプ)

耐火

屋根30分耐火認定
デッキプレート下地単体

※デッキプレート(山谷タイプ)

※デッキプレート(フラットタイプ)

SD-B (126D) 仕様の構造を示すイメージ図です。

ルーフィング

- ベストブルーフシャネツ (BSN)
- ベストブルーフ (BP)
- ベストブルーフRS (BRS)
- ベストブルーフ ナンネン (BPN)
- ニューベストブルーフ (NBP)
- ロンブルーフシャネツ (LSN)
- ロンブルーフェース (LA)

断熱材

- アキレスボードGF
- ネオマフォームMK

【適用厚み範囲】25mm～50mm

※国土交通省仕様に準じるため、断熱材厚みは「50mm以下」に限定されます。

※踏み抜け防止のため、35mm以上を推奨します。

デッキプレート

- デッキプレート (山谷タイプ)
- QLルーフ など
- デッキプレート (フラットタイプ)
- アイルーフ など

支持スパン
各デッキメーカー取得認定による

※詳細は、耐火デッキプレート下地単体の認定書をご確認ください。

主要資材の規格と主な特長 (SD-B 仕様)

品名	ブルーフセメントA	ブルーフセメントNR	エフレックススタイルワン
写真			
主成分	変成エポキシ樹脂系	ニトリルゴム系	変成シリコンエポキシ樹脂系
荷姿	18kgセット・3kgセット	15kg缶・3kg缶	2kgアプリバック×9本
適用用途	ルーフィング接着固定 断熱材層間接着	ルーフィング接着固定 断熱材層間接着	断熱材下地固定用
特長	片面塗付タイプのため、連続した作業が可能で施工性にすぐれます。平場のルーフィングの固定のほか断熱材の層間接着に使用します。	両面塗付タイプのゴム系接着剤です。粘着力にすぐれ、平場・立上り面のほか、断熱材の層間接着の使用します。	初期接着力にすぐれる接着剤です。下地に対して、線状に塗付して断熱材を固定します。

各仕様の認定概要と対応可能厚み

仕様名	FPIS屋根 (SD-FPIS)		SD-S (DR-1648) 仕様	SD-S/F (DR-0210) 仕様
認定種別	耐火認定	防火(飛び火)認定	防火(飛び火)認定	防火(飛び火)認定
認定番号	FP030RF-1800	DR-1648	DR-1648	DR-0210
ルーフィング	ベストブルーフ ナンネン (t=1.5mm)			
耐燃シート	—		—	—
断熱材	ネオマフォームF		ネオマフォームHB	ネオマフォームHB ポリスチレンフォーム
野地坂	硬質木毛セメント板 25mm以上		—	
下地	QLルーフ75		QLルーフ50・75	耐火認定取得済み デッキプレート
断熱材認定範囲	50mm～150mm		30mm～150mm	25mm～150mm
断熱材適用可能厚み	【ネオマフォームF】 60・65・70・90・95・100・105mm ※30・35mm厚の組み合わせで3枚重ねまで ※耐火認定の取得公差外となるため、 20・25mm厚はご選択いただけません。		【ネオマフォームHB】 35・40・50・70・75・80・ 85・90・100・105・110・ 115・120・125・130・ 135・140・150mm ※35・40・50mmの組み 合わせで3枚重ねまで	【ネオマフォームHB】 35・40・50・70・75・80・ 85・90・100・105・110・ 115・120・125・130・ 135・140・150mm ※35・40・50mmの組み 合わせで3枚重ねまで 【ポリスチレンフォーム】 25mmから5mm単位で 150mmまで対応可能。 ※3枚重ねまで

仕様名	SD-S/F (DR-1988) 仕様	SD-S/F (DR-1987) 仕様
認定種別	防火(飛び火)認定	防火(飛び火)認定
認定番号	DR-1988	DR-1987
ルーフィング	ロンシールルーフィング※1	
耐燃シート	LFD®シート	
断熱材	アキレスボードWAL-D	クランボード
野地坂	—	—
下地	耐火認定取得済み デッキプレート	
断熱材認定範囲	25mm～150mm	
断熱材適用可能厚み	【アキレスボードWAL-D】 25mmから5mm単位で 150mmまで対応可能。	【クランボード】 25mmから5mm単位で 150mmまで対応可能。

仕様名	SD-B (DR-2034) 仕様
認定種別	防火(飛び火)認定
認定番号	DR-2034
ルーフィング	ロンシールルーフィング※1
ルーフィング用 断熱材間用接着剤	ブルーフセメントA ブルーフセメントNR
断熱材	ネオマフォームMK
断熱材用接着剤	エフレックススタイルワン
下地	耐火認定取得済み デッキプレート
断熱材認定範囲	25mm～150mm
断熱材適用可能厚み	【ネオマフォームMK】 35・50・70・85・100・ 105・120・135・150mm ※35・50mmの組合せ で3枚重ねまで

※1 適用可能厚み ベストブルーフRS(補強複合タイプ)および、緩衝層一体タイプ(ベストブルーフα・ベストブルーフプラス)はご使用いただけません。

■認定の詳細は、各認定書をご確認ください。■断熱材厚み選定時は、踏み抜けを考慮してください。(推奨 35mm以上)

認定の取得範囲であっても、工法として適用不可としている場合がございます。
工法選定の際にはご注意ください。